

平成23年7月25日公表

生産者の米穀在庫等調査（平成23年6月末見込み）

－ 販売農家1戸当たりの米の在庫量の見込みは321kg －

【調査結果の概要】

平成23年6月末における販売農家1戸当たりの米の在庫量の見込みは321kgとなり、前年の6月末在庫量（実績）である334kgに比べて13kg（3.9%）の減少となった。

このうち精米を除く在庫量の見込みは303kgとなり、前年の精米を除く6月末在庫量（実績）である313kgに比べて10kg（3.2%）の減少となった。

表 販売農家1戸当たり6月末在庫量（全国）

区 分	平成23年 (見込み)		平成22年（実績）との比較			
			対 差		増減率	
	精米除く		精米除く		精米除く	
	kg	kg	kg	kg	%	%
6月末見込み在庫	321	303	△ 13	△ 10	△ 3.9	△ 3.2

この統計調査結果で使用している統計表は、政府統計の総合窓口(e-Stat)の「統計データ新着情報」でご覧いただけます。【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

◎ 調査結果の利活用

「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」の米穀の需給見通しの策定のための資料等に利用。

◎ 関連データ

水稲の動向（全国）

年産	作付面積	収穫量	10a当たり収量
	ha	t	kg
平成17年産	1,702,000	9,062,000	532
18	1,684,000	8,546,000	507
19	1,669,000	8,705,000	522
20	1,624,000	8,815,000	543
21	1,621,000	8,466,000	522
22	1,625,000	8,478,000	522

資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』、平成22年産の数値は『平成22年産水陸稲の収穫量』

【統計表】

販売農家1戸当たり6月末在庫量（全国・都道府県別）

全国・都道府県	平成23年 (見込み)		平成22年（実績）との比較							
	精米除く		対 差		増減率					
	kg	kg	kg		%					
全 国	321	303	△	13	△	10	△	3.9	△	3.2
北 海 道	535	507	△	55	△	43	△	9.3	△	7.8
青 森	348	295	△	6	△	6	△	1.7	△	2.0
岩 手	360	339	△	69	△	68	△	16.1	△	16.7
宮 城	384	367	△	29	△	26	△	7.0	△	6.6
秋 田	230	215	△	25	△	23	△	9.8	△	9.7
山 形	313	293	△	17	△	15	△	5.2	△	4.9
福 島	423	404		13		14		3.2		3.6
茨 城	326	312	△	15	△	12	△	4.4	△	3.7
栃 木	359	342	△	16	△	14	△	4.3	△	3.9
群 馬	291	275	△	7	△	7	△	2.3	△	2.5
埼 玉	348	334	△	48	△	47	△	12.1	△	12.3
千 葉	326	315	△	4	△	1	△	1.2	△	0.3
東 京	293	277	△	7		6	△	2.3		2.2
神 奈 川	273	260	△	30	△	26	△	9.9	△	9.1
新 潟	263	238	△	25	△	18	△	8.7	△	7.0
富 山	235	221	△	19	△	15	△	7.5	△	6.4
石 川	263	243	△	64	△	69	△	19.6	△	22.1
福 井	319	303		21		25		7.0		9.0
山 梨	270	251	△	78	△	73	△	22.4	△	22.5
長 野	303	282		1		1		0.3		0.4
岐 阜	354	338	△	7		1	△	1.9		0.3
静 岡	437	422		12		15		2.8		3.7
愛 知	332	306	△	2	△	7	△	0.6	△	2.2
三 重	247	233		41		46		19.9		24.6
滋 賀	269	251	△	13	△	12	△	4.6	△	4.6
京 都	353	340	△	15	△	10	△	4.1	△	2.9
大 阪	345	333		12		15		3.6		4.7
兵 庫	333	320		0		4		0.0		1.3
奈 良	348	335	△	3		3	△	0.9		0.9
和 歌 山	380	368		63		67		19.9		22.3
鳥 取	269	249	△	29	△	14	△	9.7	△	5.3
島 根	257	241	△	22	△	20	△	7.9	△	7.7
岡 山	381	370		5		8		1.3		2.2
広 島	355	338	△	11	△	4	△	3.0	△	1.2
山 口	291	277	△	15	△	16	△	4.9	△	5.5
徳 島	235	222		28		31		13.5		16.2
香 川	211	197	△	4		6	△	1.9		3.1
愛 媛	284	267		2		3		0.7		1.1
高 知	247	230		13		13		5.6		6.0
福 岡	333	316	△	30	△	31	△	8.3	△	8.9
佐 賀	258	216		11	△	3		4.5	△	1.4
長 崎	412	400	△	8	△	5	△	1.9	△	1.2
熊 本	345	334		3		6		0.9		1.8
大 分	337	323		16		13		5.0		4.2
宮 崎	273	254	△	5	△	7	△	1.8	△	2.7
鹿 児 島	353	337		36		37		11.4		12.3
沖 縄	60	60	△	193	△	183	△	76.3	△	75.3

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、生産者の米穀の在庫量、供給量、消費量、販売量等の実態を把握し、米穀の需給及び価格の安定を図る観点からの食糧行政の円滑な遂行等、各種行政施策の推進のための資料を整備することを目的とする。

2 調査の対象

本調査は、2005年農林業センサスに基づく農業経営体のうち、販売目的で水稻を10アール以上作付けた販売農家を対象に実施した。

3 調査戸数

5,066戸

なお、一部の調査対象農家において、調査票の回収ができなかったため、調査票の回収戸数は、平成23年5月末現在で5,062戸となった。

4 調査事項

月始在庫量、供給量、消費量、販売量、月末在庫量等

5 調査期日

調査期日は毎月末現在とする。

6 調査方法

調査員が調査対象農家に対して調査票を配布及び回収する自計調査の方法により行った。

7 集計方法

集計は、都道府県別及び水稻作付面積規模別に、集計対象区分ごとに各調査項目についてうるち米、もち米の別に、次式により行った。

< 1戸当たり平均値の算出方法 >

$$\bar{x} = \frac{\sum_{i=1}^n w_i x_i}{\sum_{i=1}^n w_i}$$

\bar{x} : 当該集計対象区分における1戸当たり平均値の推定値

x_i : 当該集計対象区分に属する*i*番目の調査対象農家の調査結果

w_i : 当該集計対象区分に属する*i*番目の調査対象農家のウェイト

n : 当該集計対象区分に属する調査対象農家数

ウェイトは、調査対象農家別に定めるものとし、それぞれ、都道府県別、水稻作付

面積規模別に区分した階層ごとに、次により算出した標本抽出率の逆数とした。

$$\text{標本抽出率} = \frac{\text{当該階層から抽出した調査対象農家数}}{\text{2005年農林業センサス結果による当該階層の大きさ（販売農家数）}}$$

8 実績精度

在庫量の目標精度は設定していない。

9 用語の解説

在庫量とは、農家が手持ちしている米穀の数量をいう。この数量には、JA等に寄託保管しているもの、販売予約済又は手付金受領済であって現品を当該調査対象農家以外の者に引き渡していないものを含む。

10 統計表の見方等

表中に用いた記号は以下のとおりである。

「△」：負数又は減少したもの

11 東日本大震災の影響

東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県の一部地域の調査対象農家においては、本年の作付が不能で、農家としての経済活動を行うことが困難な状況であること等から、調査対象外と見なし、当該農家のウェイトを除外し集計した。

12 その他

6月末現在の確定値は、平成23年11月までに公表する予定である。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報でご覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

経営・構造統計課 分析班 電話：03-6744-2042

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画課 広報普及班 電話：03-6744-2037